



さわやか



子どもの力！！

右の字をご覧ください。字形の整った素敵なひらがなです。この字は、1年生が書いた字です。くせのないお手本通りの字です。大人になった私には、とても書けそうにありません。

真っ白なキャンパスに描く水彩画のように、そのまんまの色や形が表現できるのが1年生です。教えたことを教えられたように身に付けていくのが1年生です。しかも、吸収するのが速く、その量もたくさんです。そしてそのほとんどが基礎基本的な内容です。

本校の児童は学力が高く、学習・生活の規律もよいです。その1つの要因は、低学年での指導が充実しているからだと考えています。そしてこのことは、我々教師に、初期・導入期の指導の大切さを教えてくれています。鉄は熱いうちに打てです。

ほしぞら
あまの
がわ

3つの約束 ①「はい」という返事 ②よい姿勢 ③履きもの揃え は、身に付いていますか？



靴のかかどが揃った下駄箱を見ると、「子どもは落ち着いているな。」と安心します。そして、「先生は、どんな指導をしたのだろう」と、プロ意識を揺さぶられます。きっと早い段階に、具体的な指導をし、形成的評価を加えて定着させていったのだと思います。

物事が徹底すると、その集団は高いレベルに揃ってきます。

タイトルの逆をいうと、物事が徹底しない集団は、楽なことや安きに流され、低いレベルに落ちていきます。「徹底」は、本校が目指す「互いに高め合う教育力を持った集団づくり」に欠かせない要素です。

「3つの約束」について自分の学級は、身に付き徹底しているのかご確認ください。徹底が十分でない場合は、徹底させる手立てを学年で話し合い実行してください。



※最近、朝のマラソンや清掃時に紅白帽をかぶっていない児童が散見し、気になっています。

教育活動の評価は、「A:効果はあったか」と「B:実践したか」の2つの観点から！！

2019年度「塩川小学校 経営・運営教育ビジョン」実践事項『体づくり・強育』もくひょうを持ってやり遂げる子ども
達成指標：目標を持ってやり遂げる児童100%
子どもの変容を評価する（4十分達成、3達成、2やや不十分、1不十分、0評価外・評価できない）

A 育 成 を 目 指 す	B 実践の手立て(方法)	2学期			3学期			反省
		A	B	A	B	A	B	
①指導方針 達成感・成 就感を味わ う場の工夫	①目標を持ってやり遂げる経験の 充実を図る ※なわとびやマラソン、鉄棒 認定証	○	□	○	□	○	□	「A」の枠には、指導方針に掲げた達成感・成就感が高まったかを4件法で評価する。 「B」の枠には、実践の手立てを実践したかを4件法で評価する。
②自律と自立 をめざす	①「早寝・早起き・朝ごはん 朝ふし」の啓蒙を図る							

※ 評価の材料に、学校アンケートの「児童の自己評価」を生かし、客観性を持たせて評価しましょう。

自己イメージを高く持つと… トイレのスリッパは、揃えて脱ぐことが大事なことだと、1年生でも分かっています。しかし、揃えて脱げる子は、6年生でもできない子もいます。



できない理由に、①スリッパを揃えて脱ぐことの意味がわからない。または、②揃えて脱ぐ方法がわからない。などが考えられます。意味や方法を理解させ、できるようにするには、SSTの手法がとても有効です。

他の理由として、「自己イメージの低さ」が考えられます。「自分は、きちんと揃えて脱いでいると他から認められている」と、自己イメージを肯定的に持っている子は、自己指導能力がはたらいて、いつでもどこでも、きちんと揃えられるようになります。「いつでもどこでもできる力（本物）」に高めていきましょう。